

未来そうぞう科学習指導案

2年 山脇 美穂・戸ヶ崎 晋平・東 亮多・阪本 薫子

1. 単元名『すき』を広げよう～かかりみらい～
2. 研究主題との関連

未来を「そうぞう」する子どもを育成するためのカリキュラム開発

(1) 単元について

2年生は、未来そうぞう科のテーマを「他者意識の芽生え」とし、研究を進めてきた。子どもたちは、1年生から2年生へと進級し、特定の相手という一対一の関わりではなく、自分対不特定多数の友だちへと関わりが広がっている。その中で、「自分のことが分かる・できる」という発達段階から、少しずつ「自分だけから他者について考えていく」という段階に進んできている。そこで、他者と関わりをもちながら行う“かかり活動”という学級活動を、A領域「自分自身に関すること」を育む場として設定し、『すき』を広げよう～かかりみらい～という単元で研究を進めていくことにした。他者意識をもち始めた段階において、「自分の好きなこと・したいこと」と、「他者への働きかけ」とのバランスをとりながら、自分と他者の関係を意識することへつなげていきたい。このことが、よりよい人間関係を築いていくことにつながっていくと考える。

本単元では、学級における係活動を、子ども個人の好きなことを活かして、クラスのために楽しい活動を実施するという視点で捉えた。子どもが興味・関心のあることは、音楽やスポーツ、生き物、読書など多様である。例えば、ピアノが好きな児童は、ピアノを上手に弾くことを目標に取り組んでいる。その中で、弾けなかった曲が弾けるようになったり、認められたりすることで、成就感を得て、好きになっていくことが多い。しかし、どうして好きになったのかを改めて考える機会や、ピアノそのものに関して知る機会は学校生活においてほとんどない。また、従来の係活動は、生活を充実させるために必要とされる学級内の仕事の分担を児童自身が見出し、協力していこうとするものだが、給食当番などの当番活動と変わらない、子どもの創意工夫の余地のない活動が散見される場面もある。

そこで、「子どもの『すき』を出発点にして取り組む『かかり活動』」を通して「好きなピアノ」を捉え直すと、「ピアノって楽しいな」と漠然と捉えていたことが、「ピアノのこういうところが好き」「ピアノに関して、もっと詳しくなれた」「ピアノと似ている他の楽器もあるんだな」というように自分の中にある『すき』を広げる機会になる。『かかり活動』は、子どもたちが個々人のすきの気持ちをもとに取り組んでいるため、夢中になって取り組むことができ自然と創意工夫する姿が見られる良さがある。このように、子どもの『すき』を出発点にして組織することで、『すき』に関する視点がより広がり、自分自身への新たな出会いを見つける姿につながると考え、本単元を設定した。

本単元の導入では、自分の「好きなこと・やっていて楽しいこと」を、イメージマップを用いて自由に書き表し、その中から『かかり活動』に結び付けたいものを選択し、活動を進めてきた。子どもたちは、活動を進めていく中で、「自分の『すき』が友だちにも広がったらいいな。」と考え、似たような活動をしている友だちと一緒に活動することも出てきた。その際、個々人の『すき』という視点があるので、友だちと協力する姿の中にも、個々のしたいことが尊重されながら活動が進んでいった。また、友だちとの交流が活発になるように、教室の後方にクリアファイルを貼り、『かかり活動』を発信する場を設けた。各々に調べたことや伝えたいことを自由に表現できる場があることで、制作物やお知らせなどを好きなタイミングで提示したり交換したりすることができ、さらに意欲的に活動する姿が見られた。自分の好きなこととかかり活動を関わらせる活動は、友だちの『かかり活動』を体験することで【『すき』を広げる】ことができ、自分自身の中で【『すき』を深める】ことができる。こうした体験を繰り返し積み、改めて『自分自身』を振り返ることで、一つの対象として自分自身にアプローチする力を育んでいけると考える。

大単元	自分に関する内容	集団や人間関係に関する内容	広く社会や環境にアプローチする内容
小単元	他者意識の芽生え		
	自己発見・自然とあそぼう・にこにこスペシャル植物園		
1 学期	3 ヒント クイズ	学校案内をしよう うきうきをつくろう	植物園をつくろう
2 学期	『すき』を広げよう	秋を楽しもう	収穫祭をしよう
3 学期			新 2 年生に畑をおくろう
年度末	成長アルバムをつくろう		

(2) 単元の目標

【主体的実践力】	自分の好きなことをもとにした『かかり活動』を周りの人に広げるために、必要な情報を調べたり、材料を集めたりと積極的に活動に取り組むことができる。
【協働的実践力】	自分の好きなことを『かかり活動』につなげて活動し、友だちと協力しながら課題を解決するために、よりよい考えをつくり出そうとすることができる。
【創造的実践力】	友だちの『かかり活動』を体験することで、自分の中にある視点を広げたり、自分の好きなことへの見方を広げ深めたりして、課題を解決するために、自分なりに工夫することができる。

(3) 活動構成の仮説

○子どもの『すき』から『かかり活動』を位置づけることで、新たな気づきのある活動になる。また、自分の『すき』を広げる視点を取り入れることで、他者意識の高まりにつながる。

子どもの好きなことをもとにして、『かかり活動』を組織することで、改めて自分の『すき』を省察するだけでなく、友だちの『かかり活動』を体験することから新たな興味・関心へと広がり、自分自身にアプローチする力を育むことができると考える。

○自分の『すき』を友だちに広げることを意識させることで、自分の『すき』を深めることにつながる。

自分の『すき』を周りの人に広げるために、詳しく調べたり、他者へ伝える方法を考えたりすることが自然と必要になってくる。こうした活動を繰り返す中で、好きなことへの気持ちが高まり、自分の『すき』を多面的に見ることができるようになると考える。

3. 指導計画（全 20 時間）

学びの過程	学習活動と問題意識	子どもの意識	指導者の役割	指導者の評価		
				主体的実践力	協働的実践力	創造的実践力
現状把握的想像	1. 自分の好きなことを知る。 ・自分の好きなことをイメージマップを用いて書き出してみよう。	好きなことを書き出してみると、思っていたよりもあるんだね。 とりの友だちと自分の好きはちがうものがあるよ。 書き出したものを見ると、生き物に関係していることが多い気がするな。	・好きなことをたくさん書き出せるように、具体的な場面を思い出せるようにする。 ・『すき』と『かかり活動』を結びつける視点を児童がもてるようにする。	・これまでの経験などを思い出しながら、自分の『すき』を書き出すことができる。	・自分と友だちの『すき』を比較して、『すき』が様々であることに気づき、交流することができる。	
課題解決的創造	2. 『かかり活動』にできることは何か考える。 ・みんなに広げたい自分の『すき』って何だろう。	自分の『すき』でクラスのお友だちが楽しんでくれたらうれしいな。どれにしようかな。 サッカーが好きだから、サッカーかかりにしようかな。 めいろの楽しさを友だちにも知ってもらいたいな。	・『すき』と『かかり活動』が結びつけにくい児童には、具体的な例示をし、イメージがもてるように助言する。	・『かかり活動』に関心を持ち、これまでの経験を思い出しなが、周りに広げたいことを考えることができる。	・『かかり活動』をするために、友だちに聞いたり友だちと協力して取り組むことができる。	・『すき』と『かかり活動』をつなげてできることを考えることができる。
検証的想像	3. 『かかり活動』を始める。 ・自分の好きなことから、『かかり活動』につなげて活動を進める。 ・自分の好きなことをみんなに伝えたり、広げたりする方法を考えよう。	まずは、自分の知っていることで生き物クイズを書いてみよう。それから、本や図鑑、インターネットで調べてみようかな。 友だちとしたいことが似ているから一緒に活動したいな。 クイズやイベントをして、もっと知ってもらいたいな。友だちが喜ぶから、折り紙で景品を作ろうかな。	・探求的に活動できるように、かかり活動の時間を確保し、それぞれが主体的に取り組める場を設定する。 ・i-pad や図鑑、画用紙など児童が使いたい時に使えるように環境を整備する。	・『かかり活動』をするために、材料を集めたり、調べたり、お家の人に相談したりと自分から進んで活動することができる。	・『かかり活動』をよりよくするために、周りの人からの意見も取り入れて協力して活動に取り組むことができる。	・試行錯誤しながら、発想を広げて、『かかり活動』に取り組むことができる。
発展提案的創造	4. 『かかり活動』を友だちに伝えていく。 ・自分たちの『かかり活動』は相手にどのように伝わっているのだろう。	友だちの掲示したものを見て、新しいことを知ることができたな。絵もあって分かりやすいな。 友だちの活動を見て、楽しそうだから、一緒に入れてもらいたいな。 未来そうぞうの時間だけでは、伝えられないな。どうしたらいいのかな。 めいろを作るのは楽しいけど、思うように『すき』が広がっていないね。	・児童の問題意識から、次時の活動を設定するため、未来ノートを活用し、見通しを共有する場を設定する。	・自分や友だちの『かかり活動』楽しみながら伝えたり、体験したりすることができる。		・『かかり活動』の交流を通して『すき』の見方や考え方を広げることができる。

<p>現状把握的想像</p>	<p>5. お互いの『かかり活動』に対して、良さや改善点を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちの意見を参考にして、より楽しんでもらえる『かかり』にするために、どうしたらよいか考えよう。 	<p>あそびかかりは、みんなが楽しめているよ。でも、他のかかりはどうか。</p> <p>改善点の中でも、自分たちでできそうなものからやってみよう。</p> <p>友だちに意見をもらおうと新しい考えが出てきて、みんなが楽しんでもらえるかかりにできそうだね。</p> <p>お家の人の意見も聞きたいね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 広げるための視点をもって良さや改善点を伝えてもらうようにする。 改善点に優先順位をつけるときの視点を確認するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの『かかり活動』について良さや改善点を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちからの意見を受け入れ、疑問を質問したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちからの意見を『かかり活動』にどのように活かそうか考えながら取り組むことができる。
<p>課題解決的創造</p>	<p>6. 友だちやお家の人からの意見の参考に『かかり活動』を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の『すき』とクラスの現状や友だちが知りたいことをもう一度考えてみよう。 	<p>今までは作ったものをファイルに入れるだけだったけど、本棚に置いた方がみんなに遊んでもらえたね。</p> <p>山にある石だけではなくて、学校にも素敵な石があるって紹介したら、みんなも探そうって思うね。</p> <p>今までみんなでしたあそびについて、アンケートをとって、ルールを見直すのもいいかもしれないね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の『すき』を大切にしながら、改善点を意識して活動できるようにする。 友だちやお家の人からの意見のかかり活動に生かす児童の活動を紹介し、他者の意見を取り入れる方法を焦点化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 『かかり活動』をするために、材料を集めたり、調べたり、お家の人に相談したりと自分から進んで活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 『かかり活動』をより良くするために、周りの人からの意見も取り入れて協力して活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 試行錯誤しながら、発想を広げて、『かかり活動』に取り組み続けることができる。
<p>検証的想像</p>	<p>7. もう一度『かかり活動』伝えたり、友だちの『かかり活動』を体験したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなにもっと広げるためにどうしたらよいか考えよう。 	<p>段ボールで本物みたいなおもちゃを作っていて、すごいな。私も作ってみたいな。</p> <p>やってみたときの感想を伝えてくれるとうれしいし、また新しいものを作ろうって思えるね。</p> <p>サッカーかかりのゲームが最初より、いいものになっているね。</p> <p>2年生以外にも『すき』を広げることができたらいいのにな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 改善点を交流する前の活動と比較し、変わったところを全体で共有する場を設けて、かかり活動の深まりを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友だちの『かかり活動』楽しみながら伝えたり、体験したりすることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 『かかり活動』の交流を通して『すき』の見方や考え方を広げることができる。
<p>発展提案的創造</p>	<p>3. 『自分自身』について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初のイメージマップと今の『すき』を比較してみよう。 	<p>友だちの『かかり活動』をやってみて、好きなことが増えたね。</p> <p>最初よりも、好きなことについて詳しくなったかもしれないな。</p> <p>お家の人の小学生のときの『すき』も気になるな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動を振り返り、それぞれの『すき』についての変容について価値づけるコメントをする。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動を振り返り、『すき』について、自分なりの考えをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと協力したり、関わったりしながら活動してきたことを振り返り、自分の変化に気づくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 『かかり活動』を始める前と後の『すき』を比較して、これからの生活とつなげて考えることができる。